

第4回湯日川水系流域委員会 議事概要

日 時	令和5年12月14日(木) 14時00分から15時40分
場 所	島田土木事務所4階会議室
出席者 職・氏名	委員長 田中 博通（東海大学名誉教授） 委員 金川 直幸（ふじのくに地球環境史ミュージアム客員研究員） 委員 村越 紳人（志太榛原農林事務所農山村整備部技監） 委員 大塚 淑夫（島田宿・金谷宿史跡保存会 相談役） 委員 松澤紘一郎（吉田町文化財保護審議会会長） 委員 林 邦彦（島田市自治会連合会 初倉地区長） 委員 増田 竜彦（吉田町自治会連合会 会長） 委員 染谷 絹代（島田市長）代理 牛尾 伸吾 委員 田村 典彦（吉田町長）代理 佐藤 慎一 事務局 島田土木事務所長、企画検査課長ほか
議題	1 第3回流域委員会における意見と対応について 2 住民意見募集における意見と対応について 3 河川整備計画(修正原案)について 4 今後の予定について
配付資料	議事次第 出席者名簿 資料1 設立趣意書、設置要領、傍聴要領 資料2-1 これまでの審議と今後の予定 資料2-2 第3回流域委員会における意見と対応 資料3-1 住民意見募集における意見と対応 資料3-2 住民意見募集における意見と対応(概要版) 資料4 前回までの委員会からの変更点について 資料5 令和4年9月台風第15号被害について 資料6-1 湯日川水系河川整備計画(修正原案) 資料6-2 湯日川水系河川整備計画対比表

1 審議事項

住民意見募集における意見と対応
河川整備計画(修正原案)

2 審議内容

住民意見募集における意見と対応について

【委員】

下流に吉田町があり、上流に島田市がある。最近の大雨で直ぐに浸水が発生していて心配している状況で、大切だと感じた。吉田町は水位の関係で逆流するという問題を抱えているということが分かった。湯日川の改修は1/10で進んでいくと書いてあるが、可能な限り計画高水位、水面を下げる計画にしてほしい。これが流域の市町の想いと思う。

受け皿として湯日川があり、それに流れ込む市町が担当する河川がある。放流先の水面が下がらない限り、内水氾濫につながる。海水面の問題があつて難しいと思うが、出来るだけ計画高水位を下げる計画として欲しい。河道掘削から河床掘削に

変更して頂いたので、少し思いが繋がったのかと思っているが、少しでも下げてもらえると流域の市町は助かる。

【事務局】

静岡県内のバランスをみて、1/10 で整備を行うこととしている。将来的には 1/30 を目指すこととしており、整備計画は前段階の整備を行う。

【委員】

県内のバランスをみて規模を決めていることは理解できる。確率規模の大小ではなく、外水位（河川水位）を下げる計画にしてほしい。河道水位を下げた流下能力を確保するようにしてもらえると支川が楽になる。

【委員長】

計画高水位自体の T.P. が下がらないかなということでは。

【事務局】

河口水位は、河川計画の基準となる朔望平均満潮位を設定しており、河口水位の影響を受ける。

【委員長】

海面の影響はどのあたりまであるのか。河口付近の河床勾配はどの程度か。

【事務局】

河口付近の河床勾配は 1/600～1/430 程度、中流域 1/300、上流域で 1/170～1/50 程度です。

【委員長】

全体的に勾配が小さい。潮位の影響を大きく受けている。大潮の時は 2m ぐらい上がると思う。

【委員】

最下流の支川の稲荷川があり、満潮時に水位が上昇する。満潮時に降雨があると逆流現象があり浸水しやすい。

【委員長】

よく氾濫する川は湯日川に近いのか。

【委員】

湯日川に流入している川です。海に近い川です。

住民意見で 12 件あったということで、反映して頂きたいというところで。その中で一点、住民意見に洪水対策の声が多い。その中で洪水時の草やごみが多く流れてきて港に堆積することがよくある。除草やごみの管理をすれば減ると思うので、強化してほしい。

【委員長】

洪水時のゴミの問題はどこの河川でもある。本文に記載しているか。

【事務局】

具体的にゴミに対する記載はしていないが、資料6-1 P36に河川の維持管理について記載している。

【委員】

書き方としてはこれ以上書けないと思うが、意識の中でこれからの河川管理を心掛けて頂きたい。

【委員長】

洪水時のごみは上流や中流からのごみもある。リバーフレンドシップ制度だけに頼るだけでなく、国土強靱化の予算で除草や樹木伐採等が可能となっている。二級河川でも整備として進めてほしい。直轄河川の予算等のデータを確認している。数年前に比べてかなり増えている。地域と協力して進めてほしい。

河川整備計画(修正原案)について

(1) 台風15号被害及び前回からの変更について

【委員長】

令和4年台風15号で外水氾濫が無かったことから、1/30程度を流せる河川であることが分かった。資料5のP4の中・下流部の護岸が崩落しているが原因はわかっているか。

【事務局】

吉田町内で5か所あった。被災原因は、河床洗堀による崩落と考えている。

【委員長】

写真を見るとよくわかる。護岸の下に根固めが入っているのでは。根固めブロックの隙間で吸出しが起きる。大出水となると流速が大きくなる。湾曲部でないと裏込め材が吸出され崩落する。隙間がないように施工する必要がある。

【委員】

P4の写真を見ると原因は吸出しということですが、護岸の構造も違うように見えるが。暫定護岸があれば今後の整備で対応してほしい。

(2) 修正原案について

【委員長】

誤字の修正を。P16の「近く」を「近づく」に。

今後の予定について

【委員長】

関係機関への照会はいつごろか。

【事務局】

流域委員会後直ぐに取り掛かる。年明けごろを目途に。

【委員長】

中部地整へはいつごろか。

【事務局】

順調にいけば2月上旬を予定している。

【委員長】

年度内に同意されそうだ。

【事務局】

予定通り進めば年度明けに公表される予定。

【委員長】

今年度末同意となると、来年度予算はすでに考慮しているか。

【事務局】

予算要望について補正予算も考えて対応していきたい。

【委員長】

湯日川の洪水対策は、内水対策が大きいと思う。大きな支川でないので大きなものにはならないと思うが、地形的要因を考慮すると排水機場整備が必要な個所がある。内水対策について優先順位をつけながら進めて欲しい。

【委員】

初倉地区に14自治会があるが、リバーフレンドシップ制度に登録しているのは月坂自治会だけ。ここが、湯日川に一番親しんでいる方々だし、一番被害を受けるところ。本自治会は独自に監視カメラをつけている。12月の防災訓練でテスト、夜の稼働状況もチェックしている。資料6-1P33の主要な整備箇所が該当箇所となっており、主な整備箇所として位置づけて頂いたことに大変うれしい。住民の方々の心配を少しでも解消して頂ける、お礼を申し上げます。湯日川は散歩コースに使ったり、桜や花が有ったり、希少生物が居たりと貴重な空間、水辺に対する愛情も含めて地域として協力していきたい。

【委員】

P39 河川改修などのハード対策をより一層加速化するとともにと書かれているが、方法としては河床に溜まった砂を取るや護岸整備となっている。強化のしようがないのでは。川の改修、線の整備には限界がある。流域治水という面の整備、多くの方がそういった意識を持つていく必要がある。

【事務局】

P26に記載しているが、協議会を立ち上げ議論を始めている。整備計画が策定されると河道の形が決まるのでこの先、内水対策を進めていければと考えている。

(以上)